



ミネベア株式会社決算説明会

2005年3月期第1四半期決算

2004(平成16)年 8月11日

代表取締役 社長執行役員 山本 次男

2005年3月期第1四半期 業績

(百万円)	--- 2004/3期 ---		2005/3期	1Q 伸び率	
	1Q	4Q	1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	66,489	66,105	71,324	+7.3%	+7.9%
営業利益	4,259	4,106	2,802	-34.2%	-31.8%
経常利益	3,285	2,535	1,982	-39.6%	-21.8%
税引前利益	2,177	3,069	1,937	-11.0%	-36.9%
純利益	421	1,671	208	-50.5%	-87.6%

増収減益
電子機器セグメントの損失が拡大

2004年8月11日

1



2005年3月期第1四半期の業績は、売上高は伸びましたが、大幅な減益となりました。売上高では主要製品の売上高増加とミネベア・松下モータ社設立に伴う上乘せがありました。

営業利益は、電子機器セグメントのスピンドルモーター、キーボード、ミネベア・松下モータ社の事業の損益の落ち込みが響きました。

純利益では、海外子会社の赤字があり税率が高くなっていることの影響があります。

第1四半期 セグメント別収益

(百万円)	2004/3期				05/3期	1Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前四半期比
〔売上高〕							
機械加工品	28,606	27,059	27,434	28,593	28,256	-1.2%	-1.2%
ベアリング関連製品	23,959	23,169	23,324	24,152	24,247	+1.2%	+0.4%
その他機械加工品	4,646	3,892	4,109	4,442	4,009	-13.7%	-9.7%
〔電子機器〕							
電子機器	37,883	40,193	41,294	37,511	43,067	+13.7%	+14.8%
回転機器	21,458	22,184	22,209	20,890	26,852	+25.1%	+28.5%
その他電子機器	16,424	18,011	19,084	16,622	16,216	-1.3%	-2.4%
合計	66,489	67,252	68,728	66,105	71,324	+7.3%	+7.9%
〔営業利益〕							
機械加工品	4,908	4,270	5,035	5,292	5,082	+3.5%	-4.0%
電子機器	△ 648	937	△ 503	△ 1,186	△ 2,279	-	-
合計	4,259	5,208	4,531	4,106	2,802	-34.2%	-31.8%

2004年8月11日

2



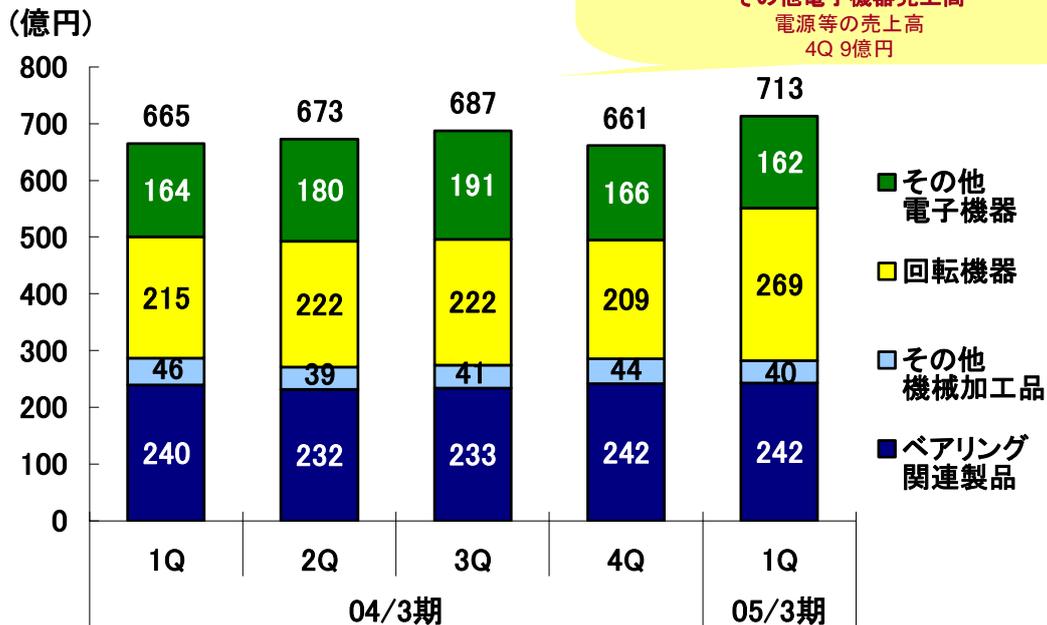
セグメント別の売上高と営業利益は上記の通りです。

売上高推移

売上高は増加傾向
HDD関連を除くほぼ全ての主要製品の売上高が4Qから増加

回転機器売上高増加
ミネベア・松下モータ社設立に伴う上乗せ61億円

その他電子機器売上高
電源等の売上高
4Q 9億円



2004年8月11日

3



この第1四半期は、主要製品の売上高が全般的に前期第4四半期から増加しました。販売数量が増加したこともありましたが、販売単価と為替が安定していたことがプラスに効いています。部門別の売上高を前期第4四半期と比較すると以下の通りです。

<回転機器>

ミネベア・松下モータ社の設立に伴う松下モータ社からの引継ぎ分として61億円が上乗せされました。松下分を除いた売上では、ファンモーターとステッピングモーターは好調に推移しました。

<その他電子機器>

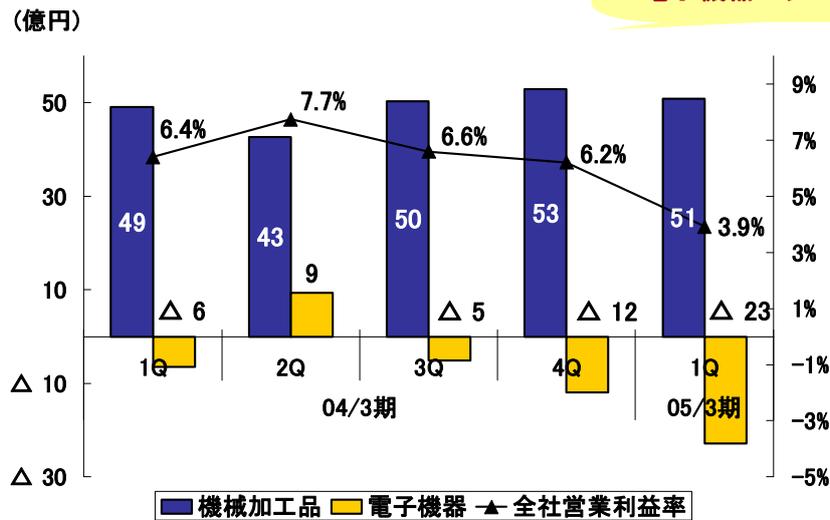
電源等事業から撤退した影響を除いたベースでは増加しています。前四半期の電源等の売上高は9億円でした。

<ベアリング関連製品>

前四半期から横ばいとなっていますが、ボールベアリングの売上高は増加しました。ピボットアセンブリーがHDD需要調整の影響を受け減少しました。

営業利益推移

機械加工品セグメントは堅調
電子機器セグメントが課題



セグメント別営業利益率

	04/3期				05/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
機械加工品	17.2%	15.8%	18.4%	18.5%	18.0%
電子機器	-1.7%	2.3%	-1.2%	-3.2%	-5.3%

注: 各セグメントの営業利益率は外部顧客に対する売上を使用

2004年8月11日

4



機械加工品セグメントの営業利益は、第1四半期も引き続き好調でした。ボールベアリングの販売がさらに拡大し、生産性が向上したことが主な要因です。

電子機器セグメントの営業利益は、23億円の営業損失と、大幅な赤字になりました。

第1四半期の実績について

■ ボールベアリング事業

- 販売・生産・利益全てにおいて引き続き好調

■ HDDスピンドルモーター事業

- 主要顧客の生産調整の影響

■ キーボード事業

- 生産移管に伴う固定費負担増

■ ミネベア・松下モータ社

- 製造拠点統合に伴う費用前倒し発生

2004年8月11日

5



電子機器セグメントのうち以下の3事業が課題となっています。

<HDDスピンドルモーター事業>

第1四半期も生産販売の減少により採算性がさらに悪化しました。

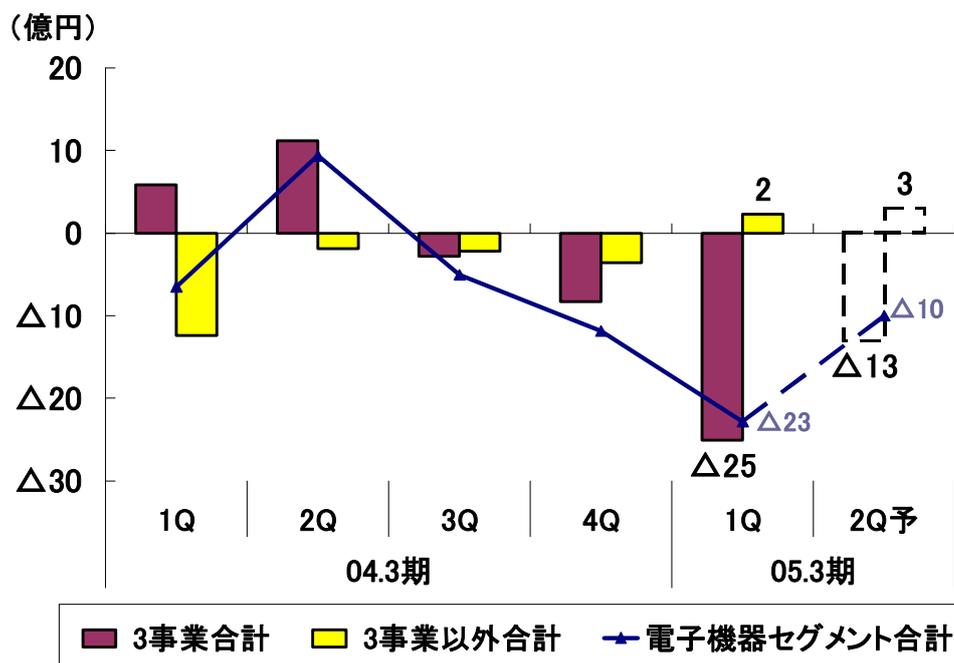
<キーボード事業>

急ピッチで生産移管を進めていますが、それに伴い固定費負担が増加しています。

<ミネベア・松下モータ社>

計画を大きく下回る業績となりました。製造拠点の統合に伴い一時的な費用が発生しています。

電子機器セグメント営業損益



2004年8月11日

6



電子機器セグメントの赤字は拡大していますが、前述の3事業以外の採算性は確実に改善しています。

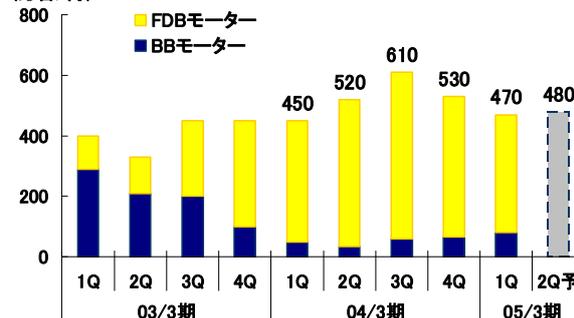
HDDスピンドルモーター事業

- ・ 1Qは主要顧客の生産調整の影響により販売数量は前年度4Q比10%減。
- ・ 2Qは若干の回復を見込む。
- ・ 新規受注の獲得に取り組み中。3Q～4Qにかけて成果を出す目標。

収益改善のための施策

- ◆ 販売数量のボトムアウト
- ◆ 全工程においてコスト低減を継続

当社HDDスピンドルモーター販売数量推移・見込み
(万台/月)



新型FDBモーターの開発とサンプル活動を強かに推進中

- | | |
|--------|--|
| 3.5インチ | ROFタイプ 客先での評価試験は好調 4Qに量産開始予定
同時に、顧客層拡大に注力 |
| 2.5インチ | 従来型 客先にて評価中 4Qに量産開始予定
ROFタイプとHMFタイプを開発中 |
| 1.8インチ | HMFタイプのサンプル活動を実施 |

2004年8月11日

7



当社の一部顧客の生産回復が遅れているため、第2四半期は急速な回復は見込めません。全工程においてあらゆるコスト低減の施策を図っています。

長期的な収益改善のためには、先に発表した新型FDBモーターの成功が不可欠です。現在、サンプル活動を実施しており、3.5インチ向けROFタイプのサンプルは好評です。ROFタイプから今期中に量産開始できるよう対応しています。

ミネベア・松下モータ社

統合作業を前倒しで実施

- ◆ 生産品目の統合
- ◆ 外注の整理
- ◆ 部品製造の強化
- ◆ 組立工程の適地移管

生産拠点の整理統合

ファンモーター	}	ミネベア工場への 移管を年末までに終了
ステップモーター		
振動モーター	}	統合作業を加速 生産効率の見直し (金型・設備機械・組立ライン)
ブラシ付DCモーター		

充実した製品ラインアップで拡販を実施

製品	2Q売上高 見通し(1Q比)	販売見通し
ファンモーター	2桁%増	ゲーム機用が回復へ。PC向け需要増加。デジタル家電向けが好調。
ステップモーター	2桁%増	OA向けが好調。
振動モーター		主要顧客の生産調整終了へ。リニアタイプ新製品を市場投入。
ブラシ付DCモーター		コスト低減と受注獲得に向けた活動を強化。

2004年8月11日

8



ミネベア・松下モータ社につきましては、生産体制を見直しています。そのため、第1四半期は多額のコストが発生しています。製造拠点の整理統合は、今年年末までに目処をつける予定です。

一方、ファンモーターとステップモーターでは、販売が好調に推移しています。第2四半期の販売数量は、第1四半期よりそれぞれ20%以上増加する見込みです。

キーボード事業

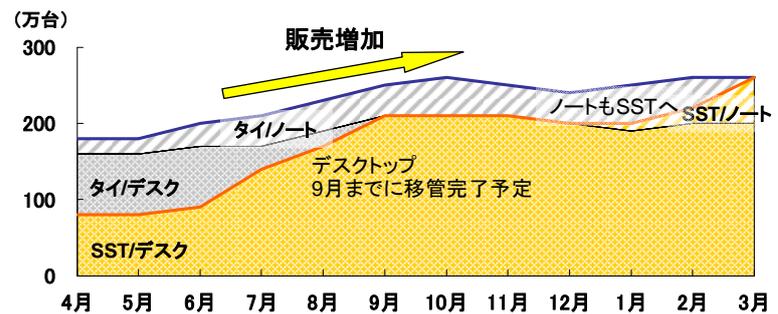
SSTへの生産移管を推進

タイからSST(上海)への
生産移管を急ピッチで実施中
⇒ 短期的に大幅コストUP

優先取り組み事項

- ◆ SST生産の承認活動推進
- ◆ SSTの生産性UP

今期販売見込み及び生産移管計画



販売が増加トレンドに

年末、販売は月産250~300万台ベースに
ノートは月産50~60万台

- ◆ 新規顧客向けの販売が拡大
- ◆ 付加価値製品の開発・製品化
- ◆ ノート向け販売が拡大

ワイヤレス2.4ギガ、スマートカード 製品化へ



ノート向け新製品



2004年8月11日

9

NMB Minebea

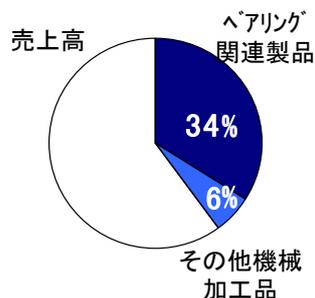
キーボード事業は、ようやく生産・販売共に好循環に入ってきました。

SSTへの生産移管を急ピッチで進めているため、短期的にはコストの大幅アップになっていますが、顧客からの承認活動と生産性引き上げに全力をあげています。

新規顧客向け、新製品、さらには、ノート用のキーボードの受注に成功し、下期のキーボードの販売は月250万~300万台のレベルになる見込みです。そのうち、ノートタイプは現水準の倍の月50~60万台を見込みます。

第1四半期主要製品売上高

機械加工品セグメント



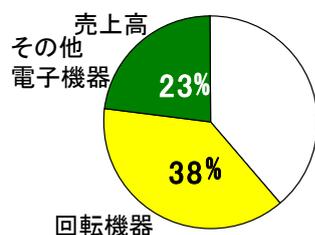
ベアリング関連製品

ボールベアリング：(売上高比率 24%) 前四半期(4Q)比 +2%、日本とアジア向けを中心に販売数量が順調に拡大
 ロッドエンド・スフェリカルベアリング：(5%) +4%、リージョナルジェット向け等米国が好調
 ヒポットアセンブリー：(5%) -10%、HDDメーカー各社の生産調整の影響

回転機器

HDDスピンドルモーター：(13%) -5%、主要顧客の生産調整の影響
 ファンモーター：(10%) +10%、旧松下分の売上の寄与
 ステッピングモーター：(7%) +4%、増加分は旧松下からの上乗せ
 ブラシ付DC&振動モーター：(8%)、主要仕向け先の生産調整

電子機器セグメント



その他電子機器

キーボード：(8%) -11%、季節要因、受注は増加傾向
 エレクトロデバイス：(7%) +24%、バックライトインバーターの組替え、全製品が売上増加
 スピーカー：(5%) +23%、スピーカーボックスの好調、計画を上回る

2004年8月11日

10



その他の主要製品の売上高については、上記のとおりです。

ボールベアリング事業

- ・ 1Qはエアコン、ファン、事務機器、自動車を中心に全体的に好調、外販が月1億1,000万個以上に。Q2は季節要因-エアコンのオフシーズン、欧米の夏期休暇。
- ・ 販売単価の下落幅は従来より縮小。
- ・ 一段の生産性改善によりコスト低減が進展。

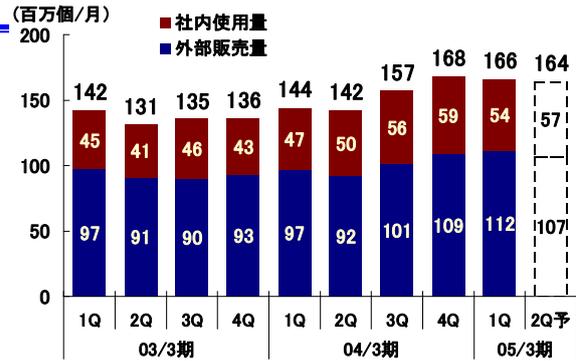
「月産1億8,000万個体制」
の定着に向けて前進

ボール新工場の建設

- タイ・ロップリエ工場敷地内
- 8月に完成、設備機械搬入予定
- 建設費6億円

生産能力引き上げ
リスク分散

当社ミニチュア・小径ボールベアリング 販売数量推移



当社ミニチュア・小径ボールベアリング 販売・製造単価推移



2004年8月11日

11



第2四半期は夏期休暇等の影響が予想されますが、季節調整幅は例年よりも軽微と予想されます。

製造単価の低減はさらに進展しています。販売単価が安定してきましたので、これから生産性の改善が利益に大きく反映されると期待しています。

また、ボール新工場の建設に着手しました。新工場の完成は8月の予定であり、ボールベアリングのさらなる増産に十分に対応できるようになります。

第1四半期 用途別売上高・地域別売上高

用途別売上高

自動車、家電、情報通信機器の比率が上昇
ミネベア・松下モータ社による上乘せ

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信機器(OA)	PC及び周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	10.1%	8.3%	12.5%	16.2%	36.1%	5.2%	11.7%	100.0%
前四半期比 伸び率(4Q比)	+27.3%	-6.9%	+47.8%	+45.4%	-4.8%	-1.9%	-10.5%	+7.9%
前年同期比 伸び率(前年度1Q比)	+49.1%	-11.0%	+9.7%	+111.9%	-11.1%	+9.6%	-8.7%	+7.3%

地域別売上高

中華圏での売上高は
現地通貨ベース
前四半期比11%増

	日本	アジア (除 日本)	北米・ 南米	欧州	合計
売上高比率	27.2%	47.3%	15.4%	10.1%	100.0%
前四半期比 伸び率(4Q比)	+2.3%	+19.6%	+2.4%	-12.3%	+7.9%
前年同期比 伸び率(前年度1Q比)	+17.9%	+11.0%	-3.4%	-13.0%	+7.3%

2004年8月11日

12



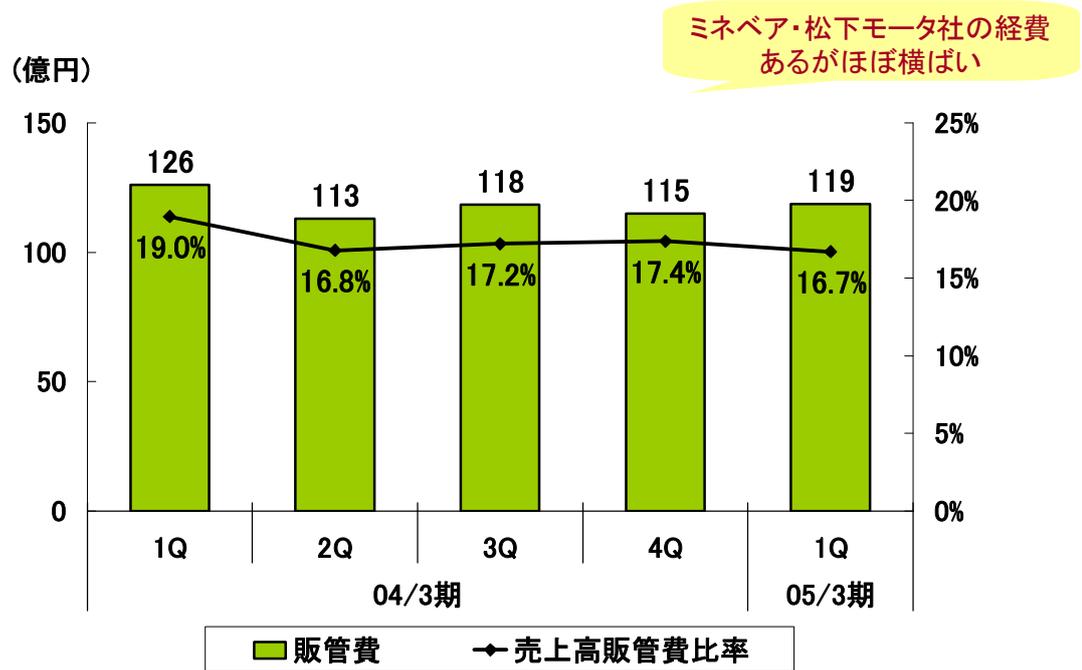
<用途別売上高>

松下モータ社からブラシ付DCモータのCDプレーヤー等各種家電、自動車電装向け、振動モータの携帯電話向けが加わったことにより、自動車、家電、情報通信機器の比率が上昇しました。

<地域別売上高>

中華圏を中心にアジア地域が引き続き伸長しました。日本も好調でした。

販管費推移



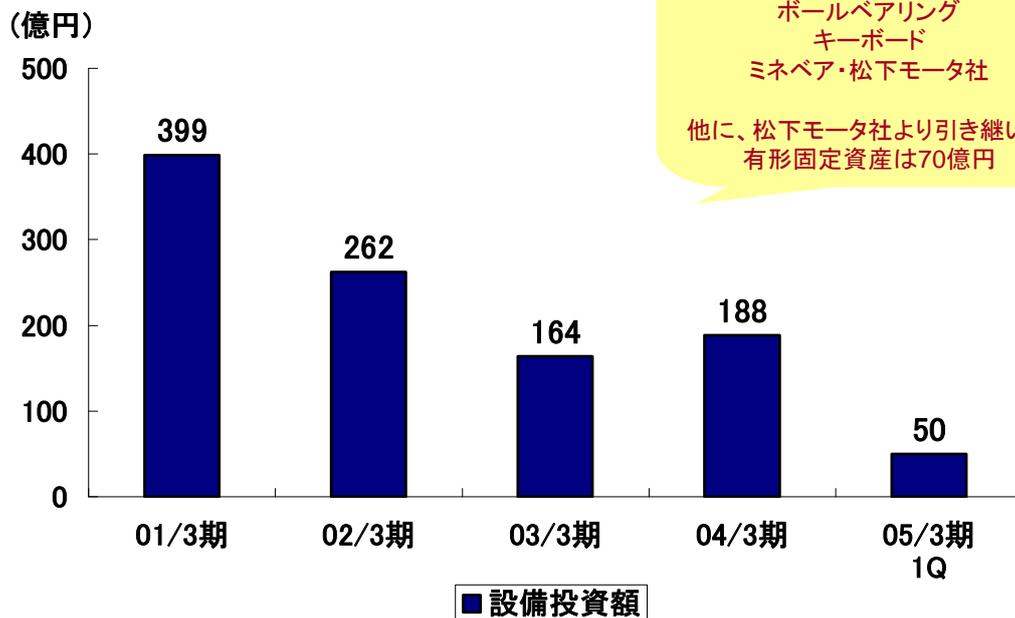
2004年8月11日

13



ミネベア・松下モータ社の経費の上乗せがありました。親会社の販売網や管理部門を効率的に活用することにより、増加は最小限にしています。

設備投資額推移



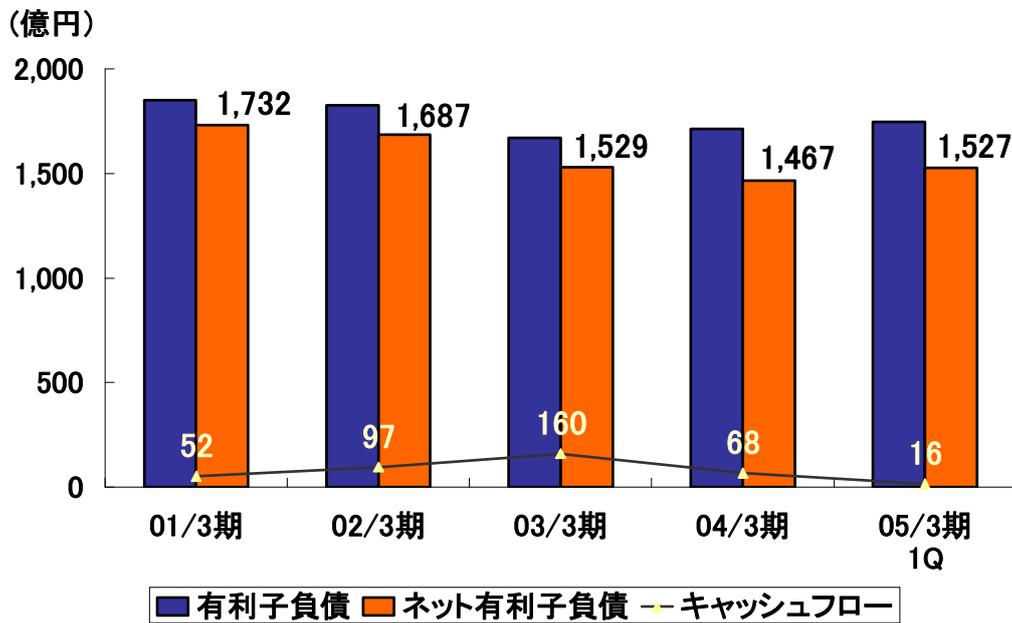
2004年8月11日

14



第1四半期は検収ベースで50億円の設備投資を実施しました。
今期は230億円の設備投資を計画していますが、必要に応じて投資を実施する考えです。

有利子負債推移



注: キャッシュフロー = 営業活動CF - 投資活動CF

2004年8月11日

15



有利子負債では、ミネベア・松下モータ社に関わる借入金の増加がありました。

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

2004年8月11日

16



現時点での第2四半期の業績見通しは、売上高は第1四半期から若干増、営業利益は電子機器セグメントの改善により第1四半期から約15億円の改善を見込みます。